

在宅医療連携拠点 ニュースレター

公益社団法人肝属郡医師会

肝属郡医師会立病院

2017年3月発行 Vol.27

(2016年12月・2017年1月・2月・3月活動)

【この号の内容】

- 1 平成28年度
認知症疾患医療センター
連携担当連絡会
- 2 平成28年度
鹿児島県重症
難病医療ネッ
トワーク連絡
協議会
- 3 平成28年度
第3回地域医療
支援病院管
理運営小委員
会

1. 平成28年度認知症疾患医療センター連携担当連絡会

開催日：2017年1月27日（金）13時～16時 会場：鹿児島県庁

（認知症疾患医療センター）

谷山病院、パールランド病院、ウエルフェア九州病院、宮之城病院、荘記念病院、栗野病院、メンタルホスピタル鹿屋、奄美病院

【議題】

- ・認知症初期集中支援チームの関わりについて
- ・認知症サポート医との連携状況について
- ・認知症外来の周知方法について
- ・認知症疾患医療連絡協議会について

【意見交換】

・認知症疾患医療センターの多くは精神科を標榜されている医療機関が多く、認知症疑いのケースについて、受診勧奨するがなかなか受診まで結びつく事案が少ない。

・認知症初期集中支援チーム事業が県内での自治体でも事業がスタートし、以前と比べると地域包括支援センターや居宅介護支援事業所から受診相談の件数が増加傾向にある。

・認知症の鑑別診断を目的とした紹介はあるが、受診するまでに1ヶ月以上必要とする。受診時も問診や画像検査など含めると半日かかる。

【認知症疾患医療センターについて】

都道府県及び指定都市により認知症専門医療の提供と介護サービス事業者との連携を担う中核機関として指定を受けた医療機関のこと。以前は老人性痴呆疾患センターの名称で平成元年度から平成18年度まで予算計上されていたが、地域の関係機関との連携等において十分な機能を果たしていないことが課題となったことから見直しが行われ、現在の認知症疾患医療センターとなった。

認知症疾患医療センターとしての機能役割

- ① 専門医療機関として、詳細な診断や急性精神症状への対応、身体合併症を有する患者への対応を行う
- ② 認知症医療の地域における中核的機関として、専門職研修会や連携協議会開催、専門的な相談を通して、医療機関と介護サービス提供事業所等との連携強化を図る
- ③ 認知症医療の情報センターとして、地域住民への認知症に対する理解を含めた啓発活動や相談を行う
- ④ 地域における医療と介護の連携拠点として、認知症連携担当者を配置し、地域包括支援センターとの連携機能の強化を図る

*大隅管内では、メンタルホスピタル鹿屋が指定を受けている（各県二次医療圏内に1カ所の指定）。

2. 平成 28 年度鹿児島県重症難病医療ネットワーク連絡協議会

日時：2017 年 3 月 16 日（木）15 時～16 時 30 分
会 場：ハートピアかごしま

【議題】

- ・鹿児島県難病相談支援センターの取り組み状況について
- ・鹿児島県重症難病医療ネットワーク研修会実施状況について

【意見交換】

- ・重症難病患者の療養状況について

昭和 48 年にスタートし、ALS は昭和 49 年に対象疾患となった。昭和 49 年には 2 人であった ALS 患者数も年々増加し、平成 19 年 144 人をピークに、平成 22 年 122 人、平成 23 年 121 人、平成 25 年 119 人、平成 26 年 120 人、平成 27 年 116 人、平成 28 年度は 125 人となっている。患者数としては、ここ数年は横ばいである。

- ・平成 28 年度 ALS 患者の療養状況

ALS 患者 125 人の主な療養場所は在宅が 54.4% を占めている。在宅で人工呼吸器使用患者は 23 名、入院は 36 名、施設入所は 3 名。

【難病協力及び拠点病院の受入状況指定について】

- ・南薩地区では、神経内科医師が少ない影響もあり、在宅療養を含めたかかりつけ医が少ない。
- ・ALS をはじめとする神経難病の在宅訪問診療を行う医師については、患者家族の要望としては神経内科の専門医を希望するが多い。地域によってはそのような医師がいない場合もあり、専門医ではない医師が訪問診療しなければならない場合もある。

3. 平成 28 年度第 3 回地域医療支援病院管理運営小委員会

日時：2017 年 3 月 31 日（金）15 時～16 時 会場：肝属郡医師会立病院
参加機関名：錦江町役場（保健福祉課）、南大隅町役場（介護福祉課）、南部消防署、訪問看護ステーション菜の花

【議題】

- (1) 平成 28 年度（4 月～2 月）肝属郡医師会立病院紹介及び逆紹介患者件数
- (2) 平成 28 年度（4 月～2 月）肝属郡医師会立病院救急車搬送受入件数
- (3) 在宅医療・介護連携の取り組みについて

【意見交換】

・訪問診療の相談ケースで多いのはターミナル期の患者が多い。当院としては今後在宅医療のニーズが増えることを想定し、当院の医師で仕組みを検討し、一人の医師に負担がかからないような形が出来ないか検討したい。

医師が不在になることや研修などで鹿児島にいない場合などは補完する形をとった方がベストだと思う。



【在宅医療連携拠点事務局】

公益社団法人肝属郡医師会 肝属郡医師会立病院 地域医療室 坂上、新原、田淵
〒893-2301 鹿児島県肝属郡錦江町神川 135 番地 3
（直通回線）TEL. 0994-22-3120 FAX. 0994-28-3465 Email. yo-sakaue@kigins.com